

## 平成 27 年度 KICS 外部評価委員会 議事要録

日 時 平成 27 年 10 月 15 日 (木) 13:00 ~ 16:00  
場 所 高知大学朝倉キャンパス 事務局管理棟 5 F 会議室  
出席者 別紙のとおり

### 次第

1. 開 会
2. 議 事
  - (1) 平成 26 年度外部評価委員会指摘事項に対する対応について
  - (2) 平成 26 年度補助事業実績報告について
    - ①事業目的別分類：教育
    - ②事業目的別分類：研究等
    - ③事業目的別分類：社会貢献
    - ④事業目的別分類：全体
  - (3) UBC 活動報告
3. 講 評
4. 閉 会

### 委員会資料

- 資料 1 指摘事項対応一覧  
資料 2 自己評価書 (事業目的別分類：教育)  
資料 3 自己評価書 (事業目的別分類：研究等)  
資料 4 自己評価書 (事業目的別分類：社会貢献)  
資料 5 自己評価書 (事業目的別分類：全体)  
資料 6 UBC 活動報告 (各 UBC 別)  
参考 1 外部評価フレーム (平成 26 年度最終版)  
参考 2 各種アンケート (学生・教職員・企業・自治体)  
机上配布 進行表

### 1. 開 会

櫻井理事より開会の挨拶が行われ、議事に先立ち、外部評価委員の紹介及び委員から挨拶が行われた。

次に事務局から平成 27 年度 KICS 外部評価委員会の概要、進行について説明があった。

### 2. 議 事

#### (1) 平成 26 年度外部評価委員会指摘事項に対する対応について

資料 1 に基づき、吉用部門長から、平成 26 年度外部評価委員会指摘事項に対する対応について説明があった。なお、説明後に以下の質疑応答があった。

眞鍋委員長：地域からの要望について、多く寄せられるものなど類型化したものがあれば教えて欲しい。

赤池 UBC：類型化はできていないが、「学生と何かしたい。」「教員に対しては、今までの連携の発展型。」及び「何が課題か分からない。」である。  
岡村 UBC：「専門的技術」及び「人材育成（役場職員など）」  
梶 UBC：「学生の移住・定住」及び「嶺北地域の一体化」  
大崎 UBC：「他地域の取り組みに関する情報」  
など、各 UBC に寄せられる地域からの多い要望が述べられた。

## （２）平成 26 年度補助事業実績報告について

### ①事業目的別分類：教育

資料 2 に基づき、上田前部門長から、平成 26 年度補助事業実績報告の教育分野について説明があった。なお、説明後に以下の質疑応答があった。

吉澤委員：多くの地域志向科目が設定されているが、教員のレベル（教育の質保証）や人材確保が大変ではないかと思うがその点について伺いたい。

上田前部門長：学部を設置・改組を行うときは、設置審査を受けるので質保証はされている。

櫻井理事：大学として「地域の大学」を標榜してきたので、各教員にもその考えが浸透してきている。

井上委員：学生アンケート結果を見ると「地域の大学」は浸透しているに見える。しかしながら 25% ぐらいは未だの感があり、受ける授業によるのかなと感じた。授業内容の評価はどうのようにしているか伺いたい。

上田前部門長：このアンケートは KICS 事業に係る文部科学省統一アンケートであり、各授業評価については、本学では学期ごとに 2 回アンケートを取り各学部で反映している。

### ②事業目的別分類：研究等

資料 3 に基づき、吉用部門長から、平成 26 年度補助事業実績報告の研究等分野について説明があった。なお、説明後に以下の質疑応答があった。

眞鍋委員長：地域志向研究経費の応募件数が倍増した要因は何か伺いたい。

吉用部門長：UBC 及び吉用が各学部教授会へ出向き地域志向研究経費について説明を行うなど周知を行ったことが要因と考えている。

櫻井理事：大学からの研究経費配分の減少も要因の一つとも考えられる。

吉澤委員：集落活動センターの取り組みについての研究が採択されているが、この事業は本当に上手くいくと良いと思うが、研究結果を伺いたい。

大崎 UBC：研究結果については、ある程度把握できているが現段階で内容を報告できない。本年度も継続して取り組まれている。

受田センター長：県の重要施策でもあり力を入れているが正直現段階では自立化できていない。総務省でも高知をモデルとし研究会を発足させるなど力を入れている。

### ③事業目的別分類：社会貢献

資料 4 に基づき、吉用部門長から、平成 26 年度補助事業実績報告の社会貢献分野について説明があった。なお、説明後に以下の質疑応答があった。

吉澤委員：FBC と県の MBA との関係が上手く構築できれば思っている。

受田センター長：今後の展開については、県との連携について意見交換が必要と思っている。

櫻井理事：FBC の設置形態も含め、今後の在り方についても検討が必要。

#### ④事業目的別分類：全体

資料5に基づき、吉用部門長から、平成26年度補助事業実績報告の全体分野について説明があった。なお、説明後に以下の質疑応答があった。

吉澤委員：室戸のサテライト教室の利用状況について伺いたい。

赤池 UBC：理学部が地質学の教育研究拠点として利用している。

眞鍋委員長：サテライト教室を平成26年度に二か所設置とした理由及び経緯について伺いたい。

吉用部門長：UBC を配置している地域に平成26年度は先行配置した2か所とした。

受田センター長：サテライトオフィスと教室をセットで当初構想した。FBC の学外教室を田野町で展開するとか、四万十町で試行するなど行うことで、自然発生的に起こることも期待している。

眞鍋委員長：大学の用途で設置することもあるとは思いますが、地域のニーズに基づき設置することも重要だ、利用内容で見方が変わる。形態を整理してはと思うがその点について伺いたい。

受田センター長：室戸は想定外であったが、ご意見はごもっともで、今後考えていきたい。

井上委員：ポータルサイトの運営に苦勞されていると思われるが、アクセス数や意見とか分析して取りまとめられているか伺いたい。

吉用部門長：データ集積できる機能を備えさせている。

伊藤特任専門職員：とりまとめまでは、現段階でできていない。

#### (3) UBC 活動報告

資料6に基づき、各 UBC から、着任から今までの活動や住民意識及び評価等の内容について説明があった。

吉澤委員：市町村の「まち・ひと・しごと創生戦略」にどの程度関与しているか伺いたい。

受田センター長：私を含め多く委員長や委員の形で関与している。部門長がまとめているので部門長から報告する。

吉用部門長：34市町村のうち25市町村に関与している。

受田センター長：民間シンクタンクが高知になく、おのずと大学への相談、依頼となる。各市町村での取組みについて情報共有し全体を捉えることで新たに見えてくるものもあり、各 UBC と情報共有する場を設けた。また、いかに Do タンクへと繋げるかも大事な。

眞鍋委員長：高知の課題は深いと感じたが、「大学創生」となってはダメであり、そのバランスは非常に難しい。

井上委員：行政の立場の人間としては、コンサルがダメな場合、頼りになるのはと考えた時、どうしても大学となる。高知市においても内部にそういった人材はなく、小さな市町村は尚更である。

眞鍋委員長：自大学では学生が中心に地域活動を行っているが高知大学は学生以外の活動が多くオーバーフローではないか。

上田前部門長：学生（えんむすび隊）もオーバーフローぎみである。

### 3. 講 評

各委員が講評事項について 20 分程度の打合せを行い、委員を代表して眞鍋委員長から講評が行われ、講評内容は以下のとおり。

事業全体としては、順調に進んでいると伺える。特に UBC の活動には敬意を表したい。

続いて、事業分野ごとに講評を行う。

#### （1）事業目的別分類：教育

- ①地域志向科目に関連しては、順調と評価して良いと考える。
- ②地域協働学部の設置は評価できる。
- ③課題としては、アンケート分析の PDCA を注文としたい。

#### （2）事業目的別分類：研究等

- ①地域志向研究経費への応募が倍増したこと。その取組みと教員の地域志向の高まりと評価できる。

#### （3）事業目的別分類：社会貢献

- ①FBC の取組みは、素晴らしく成果も上がっており評価できる。
- ②地域再生研究会について、回数が多く開催されており毎回の参加人数もある一定規模有しており評価できる。
- ③課題としたいのは、UBC 活動の再定義もつと云えば高知大学の地域貢献の再定義が必要である。

#### （4）事業目的別分類：全体

- ①サテライト教室について、是非地元のニーズを汲んで UBC が配置されている 4 か所には設置してもらいたい。
- ②本委員会の開催について、5～6月の期間に開催していただきたい。
- ③COC ポータルの効果測定を行い役立てていることを発信して欲しい。

### 4. 閉 会

受田地域連携推進センター長から講評で頂いた意見を真摯に受け止め今後の活動に生かすこと及び委員会への謝辞を込めて閉会の挨拶が行われ、閉会となった。

以上

## 平成 27 年度 KICS 外部評価委員会出席者名簿

### ≪外部評価委員≫

氏 名	所 属	備 考
眞鍋 和博	北九州市立大学 地域創生学群長、地域共生教育センター長	委員長
井上 哲郎	高知市 副市長	委員
吉澤 文治郎	ひまわり乳業株式会社 代表取締役社長	委員

### ≪高知大学≫

氏 名	所 属	備 考
櫻井 克年	理事（総務・国際担当）	KICS 化事業実施担当責任者
受田 浩之	地域連携推進センター長	
石塚 悟史	地域連携推進副センター長	欠席
上田 健作	前地域連携推進センター域学連携推進部門長（教育担当）	今城部門長代理
吉用 武史	地域連携推進センター域学連携推進部門長（地域連携・再生担当）	
赤池 慎吾	高知大学地域コーディネーター（安芸地域担当）	
大崎 優	高知大学地域コーディネーター（高知市地域担当）	
梶 英樹	高知大学地域コーディネーター（嶺北地域担当）	
岡村 健志	高知大学地域コーディネーター（幡多地域担当）	
濱田 太	地域連携課課長	
藤原 眞一	地域連携課課長補佐	
小島 真一	地域連携課域学連携推進係係長	
片岡 俊弘	地域連携課域学連携推進係主任	
川口 俊司	地域連携課域学連携推進係係員	
伊藤 仁美	地域連携課特任専門職員	
岡本 恭一	自治体連携コーディネーター	
大道 知未	地域連携課特任専門職員	